



三重県新興感染症総合対策訓練について

三重県感染症対策課

訓練の目的

- ①新興感染症発生時の**初動対応**を想定した**全庁訓練**を実施し、関係部局間の相互理解や連携体制の構築を図る。
- ②「**三重県新興感染症対応マニュアル（仮称）**」に基づく**対応を実践**し、マニュアルの有効性と改善点を確認する。

訓練の想定

海外で**新型インフルエンザ**が発生し、国において政府対策本部が設置され、基本的対処方針が決定される。これを受け、**三重県でも「新型インフルエンザ等対策本部」を設置し、第1回本部員会議を開催**する。

国の訓練設定を活用

内閣感染症危機管理統括庁において、過去に実施された新型インフルエンザを想定した「感染症危機管理対応訓練」のシナリオを活用する。

「三重県新興感染症対応マニュアル（仮称）」 を活用しながら実践



対策本部
を設置



本部員会議
開催に向けた
準備

マニュアルに基づき、
本番を想定した実践的な対応を実施

本部員会議
開催

記者会見

経過の概要

- X国において、**重篤な呼吸器疾患**の患者が多数発生。
- 検体のゲノム解析により**新たなインフルエンザウイルス（H5亜型）**を検出。同日、ゲノム情報をX国が公表。
- WHOがX国へ専門家チームを派遣し、X国での調査や対応の支援を開始。
- WHOの専門家チームは、継続的にヒト-ヒト感染が発生している可能性があるとしてWHO 本部に報告。
- WHOは、緊急委員会（EC）を開催し、新たなインフルエンザウイルス（H5NX）が急速にまん延するおそれがあるとして、**「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC）」を宣言**。
- JIHSによるリスク評価及び厚生科学審議会感染症部会の意見を踏まえ、厚生労働大臣が新型インフルエンザの発生を公表し、内閣総理大臣へ報告。報告を受け、**政府対策本部を設置**。

県対策本部設置

想定する感染症の特性

- 継続的にヒト-ヒト感染が発生している可能性がある。
- **感染源は不明**である。
- X国において、830名が感染し、うち25名死亡。
- **感染経路は確定していないが、季節性インフルエンザと同様であると予想される**。
- 突然の高熱かつ急性呼吸器症状（鼻汁、鼻閉、咽頭痛又は咳）に加えて、全身倦怠感、頭痛、筋肉痛等を特徴とする。また、基礎疾患のない若年の患者においても、重症の肺炎が見られ、呼吸不全が進行した例ではびまん性のすりガラス様陰影が両肺に認められる。
- 現時点で、総合的なリスクの評価をするための情報は限られているものの、季節性インフルエンザと比較し、**重症度が高い**ことが懸念される。

三重県新興感染症総合対策訓練・・・令和9年1月7日（木）

（１）新型インフルエンザ等対策本部 設置・運営訓練

マニュアルに基づき、職員が初動対応を実践する。
各部局と連携しながら、本部員会議の開催に向けた準備を行う。

参加者 医療保健総務課、感染症対策課職員等



（２）第１回新型インフルエンザ等対策本部 本部員会議（訓練）

知事(本部長)を筆頭に各部局長等が参加し、庁内の意思決定に係るプロセスを確認。

内容

● 新型インフルエンザの現状 ● 各部局からの報告事項 ● 知事指示事項



（３）記者会見（訓練）

知事から県民への呼びかけを実施。



出席者

【本部長】	知事
【副本部長】	副知事、危機管理統括監
【統括本部員】	危機管理統括監（兼務）
【主任本部員】	医療保健部長
【本部員】	各部局長、企業庁長、 病院事業庁長、教育長、警察本部長

（４）講評

三重大学の田辺教授（元医療保健部 医療政策総括監）から訓練の講評を受け、その内容をマニュアルの見直しに反映する。



（１）新型インフルエンザ等対策本部 設置・運営訓練 13時00分～14時30分

内容

- ・ 国の訓練設定（感染症危機の想定シナリオ）に基づき、**実際の危機対応現場で求められる対応を机上で再現**する。
- ・ 訓練に参加する職員（医療保健部職員を想定）は、マニュアルを活用し、状況付与に応じた初動対応を行うとともに、対策本部の設置、本部員会議に向けた資料作成、運営等を通じて、マニュアルの有効性を検証し、改善点の抽出を行う。

想定シナリオ



マニュアル



国の通知文等



本番を想定した
実践的な対応を実施

対策本部の設置、 本部員会議に向けた資料作成



本部員会議の運営



説明資料の
作成



報告事項集約、
各部局との調整

知事指示事項
（案）作成

記者会見資料
の作成



【部内会議室】

コントローラー



開催通知



会場設営

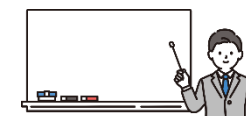


【プレゼンテーションルーム】

シナリオ



決定事項



(2) 第1回新型インフルエンザ等対策本部 本部員会議（訓練） 15時00分～15時15分

- ・ 知事（本部長）をはじめ、対策本部の構成員（各部局長等）が参加し、本部員会議を開催する。

日時・場所

- 令和9年1月7日（木曜日） 15時00分～15時15分
- 県庁3階 プレゼンテーションルーム

内容

- 新型インフルエンザの現状
- 各部局からの報告事項
- 知事指示事項



(3) 記者会見（訓練） 15時15分～15時25分

- ・ 会議終了後、本番を想定して知事から県民への呼びかけを行う。

内容

- 県民への呼びかけ（県民メッセージ）
- 質疑応答



(4) 講評 15時25分～15時30分

- ・ 三重大大学の田辺教授から、訓練全体を通じた成果及び課題について、講評を受ける。
- ⇒ 講評内容をふまえ、マニュアルの見直しに反映する。



今後のスケジュール（案）について

10月6日 ○三重県感染症対策連携協議会において訓練案の報告

▶協議会意見を反映

12月 ○県議会 常任委員会において訓練案の報告

1月7日 ○**三重県新興感染症総合対策訓練を実施**

2月 ○三重県感染症対策連携協議会において訓練結果の報告

3月 ○県議会 常任委員会において訓練結果の報告

▶**次年度以降、内閣感染症危機管理統括庁が実施する「感染症危機管理対応訓練」と連携しながら、マニュアルを活用した訓練を実施します。**